

支那外電一束	
支那政府は列國の覺書の回答に前政 府が調印した總ての條約協定を尊重 すべく列國は支那の臨時政府を承認 する要ある事を述べてゐる	
米國	支那
サン紙は米國海軍費一九二四一二五年度分を一九二二一二二年度分に比 すれば三割五分減英國は二割九分日本は五割減佛國は六割九分伊國は七割七分増加したと論ず。國務省は軍縮會議再會に就き諸國政府の賛否を問ひ賛成を得た。ヒューズ國務卿辭意を傳へられるが少くともタクナアリカ問題仲裁成立まで留まる筈。各地のナタールに喧嘩争闘の爲射殺された者六十名負傷者五十名溺死者九名テキサスホタル火災で四名焼死六名負傷凍死者八名自動車に轢かれて死んだ者二名あつた	支那政府は列國の覺書の回答に前政 府が調印した總ての條約協定を尊重 すべく列國は支那の臨時政府を承認 する要ある事を述べてゐる
世界に幾台	世界に幾台
自動車數は	自動車數は
六人の日本實業家及經濟家より成る 視察團が到着した	六人の日本實業家及經濟家より成る 視察團が到着した
ワラ砂漠横断計畫	ワラ砂漠横断計畫
經濟欄	經濟欄

英獨逸	英獨逸
二十七日英國沿海一帯に大暴風襲來船舶難波もあつた風速一時間八十キロ米突。二十四日倫敦から巴里行の乗客用飛行機上空で火災を起し乗組員九名焼死内一名伯國醫があつた	二十七日英國沿海一帯に大暴風襲來船舶難波もあつた風速一時間八十キロ米突。二十四日倫敦から巴里行の乗組員九名焼死内一名伯國醫があつた
シレシアのミュエンヌテルベルヒで人危ぶえられたカール・デンケ云ふ農園主で住宅へ少年を誘ひ斬殺	シレシアのミュエンヌテルベルヒで人危ぶえられたカール・デンケ云ふ農園主で住宅へ少年を誘ひ斬殺
自殺したのだが警官が同人の家宅搜索を行つた所置の内に人肉や生血の盛つてある金盞があつたがデンケはその人肉を食つてたのだ彼の爲に誘惑殺害された者の數頗る多い見込である	自殺したのだが警官が同人の家宅搜索を行つた所置の内に人肉や生血の盛つてある金盞があつたがデンケはその人肉を食つてたのだ彼の爲に誘惑殺害された者の數頗る多い見込である
西班牙露	西班牙露
軍艦は政治的宣傳印刷ビラを撒布する飛行機に容赦なく砲撃すべき命を受けた之はイバニエスの共和制宣傳を阻止する爲である	軍艦は政治的宣傳印刷ビラを撒布する飛行機に容赦なく砲撃すべき命を受けた之はイバニエスの共和制宣傳を阻止する爲である
阿尔貝特王は一月中に自働車でナ アルベルト王は一月中に自働車でナ	アルベルト王は一月中に自働車でナ

謹賀新年	謹賀新年
中島勘五郎	中島勘五郎
正月元旦	正月元旦
リベロン・ブレーント	リベロン・ブレーント

謹賀新年	謹賀新年
大正十四年元旦	大正十四年元旦
館旅地藏上	館旅地藏上
Rua Bonita No. 11 São Paulo	Rua Conde de Sarzedas, 50 S. Paulo
謹賀新年	謹賀新年

本店リオ・デ・ジヤネイロ 支店サンパウロコロナンドブ 藤崎商店	リオ・デ・ジヤネイロ サンパウロコロナンドブ 藤崎商店
リオ・デ・ジヤネイロ サンパウロコロナンドブ 藤崎商店	リオ・デ・ジヤネイロ サンパウロコロナンドブ 藤崎商店

リオ・デ・ジヤネイロ支店	リオ・デ・ジヤネイロ支店
リオ・デ・ジヤネイロ支店	リオ・デ・ジヤネイロ支店

伯國宣傳が未だ足らぬ

大使館一等書記官

田良治

れる者は在伯同胞である。日本に於ける伯國宣傳は、其の根柢を伯國に於ける同胞の實績に置かねば嘘である。

謹賀新年

高岡専太郎

聖市電話セントラール四一八〇

恭賀新年

海外株式興業會社

伯國支店

謹賀新年

大正十四年元旦

齒科醫
金城山戶

聖市アフォンソペニナ街三丁
電話シグリデ六一一六七

電話シグナル六二二六七

卷之三

謹賀新年

九十四年元月

日本貿易商會

謹賀新年

大正十四年元旦

伊東商店

サ 東京



Rua Barão de Itapetinga, 20 - São Paulo

排日問題

大野基尙

謹賀新年

石村洋服洗濯所

謹賀新年
サンバウロ市
ミカド運動

謹賀新年
在聖市
日本俱樂部

瀬木商店

新年

一月元日

自物臭具物品臭具藥具藥品品質計用房間子業科營農書學貴文反化玩小全種農

日本品
直輸入
聖市
中矢商店

客年中は格別の御引立に預り
難有奉感謝候 尚本年も相變らず倍舊の御愛
顧の程希上候

謹賀新年

経済上からの 日伯握手が必要

横濱正金銀行リガ支店長 小
山一郎

島要

聖市

1

卷四

卷三

九

卷

五

1

1

1

用ひて、萬事を窮屈に纏み下して居る、彼等が無分別の言論は直に其日の内に電報となり都下の各新聞に轉載され、さなきだに拘り高き伯國人の感情を刺繡するでは無いか、過剰人口の卸け場とは何の意であらう、年々七十萬増加するといふ人間を年に僅に二千人位い連れて來た所で、增加に對し〇、三%であり、之で人口の開節がついたと思ふものはあるまい、國家全體から見るとならば、こんな僅少の國民を移住せしめたお陰で伯國人から口穢く罵られ帝國の體面までも侮辱され、甚だ引合はぬ仕事であるから寧ろ此際斷然、斯る小膽意志を代表したものとは認めず單に民事業は中止してしまひ、國家の品位を維持し親睦を增进しつゝ真に實力の伴ふ小數者が漸々にやつて來て堅實の發展を圖る方が萬全の策である、移民移民といつて、底級の小國民を國外に逐ひ出しつゝあるものにブル階級のものが多いが、此にへばり着いて居る、思想が悪化するのは生活難が原因だからとあつて現下の急務として吾々は移民を獎勵するよりは、もつと實業家や財團方のものを鞭撻して國外に駆逐する方法を研究すべきであると思ふものである、伯國が要求する所のものは、伯國が要求する所のものは、勞資の二つである、此の内労働者の喧嘩を始めて多數が小數を壓し夷を方は排斥されるまでに供給して來たが資本の方だけは顧るものも無いの無しに、排日論を沈黙せしむるので頗る片手落の嫌がある、之で今假ある。

合排斥を喰つた所で物の言へよふ筈が無いでは無いか、一體日伯の關係を見るに、双方利益の均等を得て居らぬ事も非斥助長の一大因させねばならない、向後は後ればせにも、經濟關係增進に就き一層の考慮を加ふべきであらう、此の財政窮乏に窘迫してゐる時に當り財政の援助などは最も良策の一つであらねばならぬ。此頃ムソリニ氏が大陸にアラジルからう。(三五)

謹賀新年

大正十四年正月元旦

謹賀新年

大正十四年正月元旦

謹賀新年

大正十四年元旦

謹賀新年

大正十四年元旦

蜂谷兄弟商會

Rua Theophilo Ottoni
Rio de Janeiro

中山伴一郎	富岡清次	小幡延吉	輪湖一美
末吉熊太郎	内海助一	伊藤歲男	バウロムラマツ
中村上辰造	鳴海達造	久平田望	久保村月
山村一正	中村正造	伊太利	伊太利

謹賀新年

正月元旦

東洋軒

理髮主 成田脩太郎
聖市コンデデ
サルゼーダス街六一

謹賀新年

正月元旦

須山商店

正 賀 輸出入商
西谷商店
Rua Vasco da Gama, 86
Rio de Janeiro

大正年十四年元旦
扇子製造業
直輸出入業

謹賀新年

大正年十四年元旦

京都

合同物産

リオデジャネイロ出張所

K. SAWAMURA

Rua General Camara No. 213
RIO DE JANEIRO
Caixa Postal, 1004 Teleph. Norte 1868

謹賀新年

正月元旦

村上藤藏

家具製造業
市
カントン
サンクリストボン九十番

防迫佐次郎

正月元旦

菓子店

聖市コンデデ
サルゼーダス街七一

日伯親善之秘訣

福川爲

年 新 賀 恭

大正四十一年元旦

ソツレグンコ・ジーラガ

番三ステンメ・ンアヨジ・サラブ
壹八——ルーラトンセ——話電

年新賀謹

ジユケリート同志會

謹賀新年

サンパウロ市
郵函二〇〇七

謹賀新年

舊年中は不一方御厚情を蒙り
難有御禮申上候

野菜業上利山三郎

サンタアンナ

年 新 賀

三
謹

コチア日本人會長
産業組合長
武部

コチア小學校學務委員
溝淵秀馬
村上誠基
赤間久平
中村卯平
日本人會アルデア支部長
分校委員
同
同

謹賀新年
正月元旦
岡本龍太
電口

高本龍太郎

謹賀新年

年 新 賀 謹

日本大會
ア 同 支 部 チ カ
アルデア

(七)

花の四月に

大さな復興展覽會

一府五縣の出品で上野公園で開催

日本近信▲

今年の暦
月食が二回
今年の暦により一月から順にもの日
を見れば

行し爾餘の同額は事務費より捻出す
ることに決定を見るに至つた

新賀年

正元年四十正大

平與宅安

Freguezia do O' S. Paulo

Bôas Festas

CASA JAPONEZA

アラクアラ線
イグナシヨウショア

併而謝平素之疎遠
尙祈將來之御交誼
正月元旦

氏原彦馬

郵函八四二號

謹賀新禧

祈完全成ル御幸福登壽

正月元旦

謹賀新禧

祈健全成ル御發展於壽

正月元旦

九州旅館

寫眞師山口富久

正月元旦

恭しく新玉の
年を迎へ奉る

尙諸氏の御健康
繁榮を祈る

正月元旦

御禮申上げます
尙本年も倍舊の御引
立の程を願上げます

溢澤子の銅院

内務大臣閣下

止するとの報がある

手紙四錢はがき二箇値上げする

郵便所廢止は十五年

遞信者は從來の急設電話受付けを廢

し實費徵收申込順による架設とする

に決定した、又社員の待遇を改善す

べくその資金調達のため國郵便を

手紙四錢はがき二箇値上げする

郵便所廢止は十五年

遞信者は從來の急設電話受付けを廢

し實費徵收申込順による架設とする



換交刺名 =

在リオ・デ・ジヤ子イ

帝國力便會

田付七太

青木新

野田良治

福間豐吉

南
條
榮

森本承

竹內寬

栗津金六

卷之三

在ナシノウロ

卷之三

卷之三

五反田貴己	古川 靖	太田 龍二	野見山秀雄	下元兄弟	大楠佐吉
原口七郎	大村信夫	山田隆次	森岡亮一	小林弘一郎	北村政吉
水野龍	土屋久司	在パウル	齊藤清助	ドウラデンセイタボリス驛	ソロカバナ線コチア郡
與那嶺仁五郎	春日廓明	在パウル	菅原忠次	カクンヅーバ電氣企業會社	ソロカバナ線コチア郡
サントス市	帝國領事館	大内多賀三	三谷金晴	カクンヅーバ電氣企業會社	ソロカバナ線コチア郡
石原昌榮	古川富士夫	三浦庄松	山口徳太郎	大迫吉太郎	カクンヅーバ電氣企業會社
福川爲然	入江一清	坂野一三	三谷正幸	柴原聖太郎	カクンヅーバ電氣企業會社
村井稔弘	物部良平	西村一喜	稻川欣造	大迫吉太郎	カクンヅーバ電氣企業會社
イガラバーバ	古田富士夫	三浦庄松	村川欣造	大迫吉太郎	カクンヅーバ電氣企業會社
イガラバーバ	早尾季鷹	郵函一二四番	西村一喜	大迫吉太郎	カクンヅーバ電氣企業會社
イガラバーバ	石原昌榮	郵函五二五番	三谷正幸	大迫吉太郎	カクンヅーバ電氣企業會社
イガラバーバ	福川爲然	郵函一二四番	西村一喜	大迫吉太郎	カクンヅーバ電氣企業會社
イガラバーバ	安田良一	郵函一二四番	三谷正幸	大迫吉太郎	カクンヅーバ電氣企業會社
イガラバーバ	一歩園	中央線ビンダ	三谷正幸	大迫吉太郎	カクンヅーバ電氣企業會社
イガラバーバ	金山喜三郎	中主阿南吉太郎	西村一喜	大迫吉太郎	カクンヅーバ電氣企業會社
サントス市	加來三善	モヂアナ線 リフアイナ	西村一喜	大迫吉太郎	カクンヅーバ電氣企業會社
モヂアナ線 リフアイナ	山口善藏	カントレイラ線 ツクルビーラ線	西村一喜	大迫吉太郎	カクンヅーバ電氣企業會社
モヂアナ線 リフアイナ	稻田新三	DANIEL M. SUZUKI Rua Cons. de Sarradas, 81 S. Paulo	林田實三郎	大迫吉太郎	カクンヅーバ電氣企業會社

謹賀新年

伯西刺爾時報支地各社

坂元 靖
福川 薩然
宮崎 八郎
木季造
鈴原 彦馬
古庄 常喜
謝将義
菅山 鶯造
氏原 仁郎
岡嶋 長尾
山勘 須山
一須山

大正十四年元旦
第二上塚殖民地
上塚周根寬禮
中羽木信太
高權一郎
藏雄三平

謹賀新年

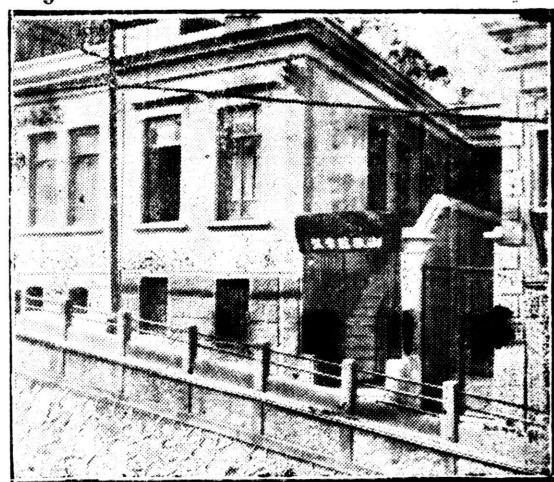
大正十四年元旦

謹賀新年

正月元旦

御旅館常盤

聖市 電話コンデ・アロウシセ四七〇七
主石原桂造
館主加藤廣三郎
秋田幸次郎



謹賀新年

大正十四年元旦

謹賀新年

大正十四年元旦

御旅館旭

館主 加藤廣三郎
秋田幸次郎

聖市 電話コンセレヨフルタード街一番
工場 電話エビタシオベソア五二〇二

恭賀新年

大正十四年元旦



製本節

ケズリ節

三共商會
前田吉太郎

サントス港

郵函セナドル・ダンタス街五二八番

「陸へ着くまで考へ物をしない？」
「賛成れ」
「ぢやあ海からこれる一番いゝもので女の忘れる事の出来ないものなあに？」
「かうこい、もの」
「もつこい、珊瑚？ 真珠？ 鰐甲？」
「もづかしくつて解らない」
「まあ頭が悪い、お料理には忘れないサントス三共商會の削り節を知らないの!!」

年 新 賀 謹

大正四十一年元旦

出利葉兄弟商會
馬場營業事務所
渡邊ペンソン
中島商店
久保鐵工場
栗田兄弟商會
安田運送店
前地ホタル
坂野鞆工店
青木商店
佐々木商店
笹原次
廣岡菓子店

グアペ
レヂストロ植民地
商業俱樂部

年 新 賀 謹

NOVO HOTEL JUQUIA'

土井萬七

御旅館
に謹生產物仲買

正賀

正賀

正賀

年 新 賀 謹

菅山商店

菅山鷲造

伯刺西爾時報社代理店
日伯新聞社代理店

日用品一切、農產物中置

イグアベ郡

**刺西爾時報社代理店
伯新聞社代理店**

農產物
仲買商
豐田小四郎

歸山發太郎

安田運送店

イグアベ郡エスター

店主 安田治平

日曜木 戊七十七年三月號 西刺爾時報

一粒の粟—穂の麥 食つて剩れば世界的奉仕

龍談

恭賀新年
サントス市
成吉謝將義館功成

新
年
上野商店

謹賀新年

日本品一切
雜貨商兼
御旅館業
關常商店

恭賀新年

正月元日

ジユキア線ジユキア駅
バラードセードロ

恭賀新年

自動車業

矢野正登

SARASÉ JARDINER

恭賀新年
大正十四年一月一日
大玉龜之助

大正十四年一月一日

ソロカバナ線
オウリニヨス驛
郵函一二二番

所務事
ノロエステ線リソス駅郵函一六一番
同線ブレシデンテアルベス駅
尾崎孫三郎
上田留次

事務所 尾崎三郎
ノロエステ線リソス驛郵函一六二番
同線ブレシデンテアルベス驛
上田留次
一切の照會及視察申込は左記宛に願度候
M.OZAKI CAIXA 262 LINS L. NOROESTE

今度パウリスター延長線に大市街を作らんとするノ
ヴォ・クラビニヨス市の手前に横たわる有名なチ
ビリツサ山脈(海拔七百メートル)の地帶を賣却開
始す開始後二ヶ月間の内大耕地主連は競つて四千
アルケーレスを買求めり、自動車道はリンス驛よ
り其土地を横斷す。

ハウリスタ延長線
チビリツサ山脈賣出し

賀正

最大限で今年の 珈琲は九百萬

中米でも早軒影響

市場擾亂の米國商人

本年度の珈琲界の情勢はどうだらう

か、昨年末サンバウロ農會例會席上

同會長フエレイラ・ラモス氏の意見

に依るとパウリスタ、ソロカバナ、

ノロエステ諸地方の珈琲農業者の言

に従へば、本年度の

収穫は、昨年度の六割にも達し

まいと云ふのが多數でまた中には九

以下と云ふのが多數でまた中には九

百萬だと云ふのもある、それでまだ

一百萬だと云ふのもある、それでまだ

帝国議會開院式

東京二十六日發國務諸大臣諸大官等參列の下に本日帝國議會開院式が行された

當國議會閉會

聯邦議會及當州議會は共に昨三十一

日夫々閉會した

藏相ニ伯銀總裁辭職

聯邦大臣サンバイオ・ビダル氏

及ブラジル銀行總裁シンシナート・

ブラーガ氏は共に大統領へ辭表を提

出した藏相の後任には當州大藏長官

マリオ・タバレス氏が招かれたが氏

は之を拒絶した因にブラーガ氏の伯

銀總裁辭意は聯邦政府と同銀行との

契約改訂に同意しかねたからで藏相

は總裁ニ連帶責任を負つてである

小樽港で火薬爆發

去月二十七日北海道小樽港で一軍艦

が火薬陸揚げの際爆發の大椿事を

惹起し死者百十名重傷者三百五十名

ド・ナシメントと云ふ百十四歳の黒

人アベニイダ・レボウサスの自宅

を破壊失した(東京電報)

風頬病院が焼けた

患者三百四十三名も收容してゐた

東京の一風頬病院が失火し近隣の住

千九百二十三年十二月三十日現在

は之を拒絶した因にブラーガ氏の伯

銀總裁辭意は聯邦政府と同銀行との

契約改訂に同意しかねたからで藏相

は總裁ニ連帶責任を負つてである

稀な長壽者の死

百十四歳で末子は四歳

ド・ナシメントと云ふ百十四歳の黒

人アベニイダ・レボウサスの自宅

で頸死したが同人は十一人の子女を

有し其末子は四歳と云ふ鳥渡長壽

者的新記録だぞ

最も人口の多い郡

二十六日田村大使は大使館に於て賜

暇歸國する駐伯國大使新に赴す

る駐英伯國大使其他を招き午餐會を開いた

南伯諸州行

二十六日田村大使は大使館に於て賜

暇歸國する駐伯國大使新に赴す

る駐英伯國大使其他を招き午餐會を開いた

大使館の午餐會

二十六日田村大使は大使館に於て賜

暇歸國する駐伯國大使新に赴す

る駐英伯國大使其他を招き午餐會を開いた

法皇廳と使節

二十六日田村大使は大使館に於て賜

暇歸國する駐伯國大使新に赴す

る駐英伯國大使其他を招き午餐會を開いた

交換の交渉

二十六日田村大使は大使館に於て賜

暇歸國する駐伯國大使新に赴す

る駐英伯國大使其他を招き午餐會を開いた

最大限

二十六日田村大使は大使館に於て賜

暇歸國する駐伯國大使新に赴す

る駐英伯國大使其他を招き午餐會を開いた

ノロエステ鐵道を

ノロエステ鐵道を

ノロエステ鐵道を

賀正

謹賀新年

大正十四年元旦

聖市コンセレイロ・フルタード街五三

電話セントラール五八一九

大正十四年元旦

廣島屋旅館

コントラーラス街五三

電話セントラール四四七六

大正十四年元旦

恭賀新年

コントラーラス街五三

謹賀新年

大正十四年元旦

聖市コンセレイロ・フルタード街五三

電話セントラール五八一九

大正十四年元旦

廣島屋旅館

コントラーラス街五三

電話セントラール四四七六

大正十四年元旦

恭賀新年

コントラーラス街五三

電話セントラール四四七六

大正十四年元旦

恭賀新年

コントラーラス街五三

電話セントラール四四七六

大正十四年元旦

恭賀新年

コントラーラス街五三

電話セントラール四四七六

大正十四年元旦

恭賀新年

コントラ

第二百二回 大石内蔵之助 牛井桃水

「可愛い小兒を浪人の父親に引渡し行未難儀させるより、矢張汝の手許に置いて、育てゝやるが好いではないか。例令胤は違ふても、現在汝の腹を痛めた、小兒と思へば矢張りとしい」

小兒を餌に惣右衛門を釣り、赤穂浪士の舉動を探つて、上杉吉良に手柄を見せ、褒美にせうと思ふ心。

「あれを聞いたか、お情深い今のお言葉、あだ疎かには思ふまいぞ」「ほんに有難いお志、嬉しうは御座りますが、愛想の盡きた男のかたみ如何に腹を痛めたとて、私は永く手許に置いて、育てる心になられやせぬ」

左様じやく、そんな小兒を育てるより、早く左右田様の胤を生で手しほに掛けた方が好い、マ、小兒の事は跡の相談、惣右衛門の居所が知られるこ、いつでも己が連て行て、引渡すまでの事、サアもう大分夜が更た、仲媒は宵の口と極つて居るのに鳴たのは慥か四つ、ドレお開きに致しませう。

「身共も一處に歸りたいが、餘り酒を強られて、何やら腰が立かねる」

渡すまでの事、サアもう大分夜が更た、仲媒は宵の口と極つて居るのに鳴たのは慥か四つ、ドレお開きに致しませう。

「是非に泊ると仰しやれば、お泊め申しも致しませうが、縁切つて了はた。

「孫兵衛は浪士の舉動を、たみは又吉良家の模様を、互ひに探り合うの裏りを致すに於ては、見當り次第お寢かし申すが好い」

「是非に泊ると仰しやれば、お泊め申しも致しませうが、若しも夜中男を入れ不義重ねて置いて、四つにするとの言渡するが、若しも夜中男を入れ不義の哭りを致すに於ては、見當り次第お寢かし申せう」

「孫兵衛は面色變へて慄ひ戰き、其の様な事があつては大變もお泊申しませう」

「イヤー、その事はない筈、二度少しも早く立歸らう」

「可愛い小兒を浪人の父親に引渡し行未難儀させるより、矢張汝の手許に置いて、育てゝやるが好いではないか。例令胤は違ふても、現在汝の腹を痛めた、小兒と思へば矢張りとしい」

小兒を餌に惣右衛門を釣り、赤穂浪士の舉動を探つて、上杉吉良に手柄を見せ、褒美にせうと思ふ心。

「あれを聞いたか、お情深い今のお言葉、あだ疎かには思ふまいぞ」「ほんに有難いお志、嬉しうは御座りますが、愛想の盡きた男のかたみ如何に腹を痛めたとて、私は永く手許に置いて、育てる心になられやせぬ」

左様じやく、そんな小兒を育てるより、早く左右田様の胤を生で手しほに掛けた方が好い、マ、小兒の事は跡の相談、惣右衛門の居所が知られるこ、いつでも己が連て行て、引渡すまでの事、サアもう大分夜が更た、仲媒は宵の口と極つて居るのに鳴たのは慥か四つ、ドレお開きに致しませう。

「身共も一處に歸りたいが、餘り酒を強られて、何やら腰が立かねる」

渡すまでの事、サアもう大分夜が更た、仲媒は宵の口と極つて居るのに鳴たのは慥か四つ、ドレお開きに致しませう。

「是非に泊ると仰しやれば、お泊め申しも致しませうが、縁切つて了はた。

「孫兵衛は浪士の舉動を、たみは又吉良家の模様を、互ひに探り合うの裏りを致すに於ては、見當り次第お寢かし申すが好い」

「是非に泊ると仰しやれば、お泊め申しも致しませうが、若しも夜中男を入れ不義重ねて置いて、四つにするとの言渡するが、若しも夜中男を入れ不義の哭りを致すに於ては、見當り次第お寢かし申せう」

「孫兵衛は面色變へて慄ひ戰き、其の様な事があつては大變もお泊申しませう」

「イヤー、その事はない筈、二度少しも早く立歸らう」

「よもや来る事は御度りますまい」「イエー、左様ではござんせぬ、家主の幸兵衛様が、先程途中で會はれた時、今宵にも尋ねたいとの、話があつたそう御座んす」

「ナニ今宵にも尋ねて見える、ではなか／＼斯うして居られぬ」と孫兵衛は狼狽驅ぐ。

たみは男優りの氣象、厭ば厭する程剝返し、無理や脅しに乘らぬ女ぞ、孫兵衛は見て取つたので、少しもたみに逆らはず、情をもつて懲ける方略、来る日も来る日も音訪て、母子の者に恵みを加へ、親しみの度を添へる。

たみは惣右衛門の心を知る者、主君の懲りを晴らす爲め、赤穂浪士が繋がる兄團兵衛が、吉良家に勤めて必定加盟する事と、思詰めて居るのであった。

惣右衛門が手紙をもつて、縁を言渡し、金子まで送つたのは、縁に居る事を知り、味方の機密の漏れる事を、窮に恐れる爲めであらう、思へば實に口惜しい、君が一夜の情には、百年の命を捨て、厭はぬ程の眞心が、先には少しも通じて居らぬか好し此の上は兄團兵衛、左右田孫兵衛を寄せ、夫となく吉良家の模様を、細大漏らさず探り知り惣右衛門殿に内報して、此身にかかる疑ひを解き、死なば共にと覺悟を極はめ

Dr. S. TAKAOKA
MEDICO E OPERADOR
Rua Fagundes, 8 - S. Paulo

診察午後三時より
ドトール・高岡専太郎
聖市電話サンラウ四二八〇
(聖市各病院に隨時
入院せしむる便宜な有す)

外科、内科

所詮望みは遂げられぬわへ』
『いかう心に掛るを見えるの』
『掛らいで何う致しませう、終の便りと思ふお人に、怪我過失でもあつてはならぬ、と旦げても暮れても案じられます』と恨みを添へて秋波を送れば、孫兵衛ぞくする程嬉しく

COLONIZAÇÃO MARTINS

de João G. Martins

TERRAS NA ZONA SOROCABANA

Escriptorio Central, Rua Gen. Couto de Magalhães, 26-sob.
Caixa Postal, 1820 São Paulo

地主 ジョアン・ゴメス
代理人 マルチング
私宅 ウンベルト・ブリモ街五
ダイラ・マリアンナ

三共商會

**ESCRITORIO DE ADVOCACIA
do
P. ACCAR TEQUARA**

DI. ASSAD BECHARA
Trabalha-se no Civil, no Crime e no Commercial

Rua Quitanda, 18-3º — Teleph. Central 1463 — Caixa, 1065 — S. Paulo

學法士 アツサデ・ベシャラ
法律事務所

本事務所は民、商、刑及孤兒保護事件につき初審控訴上告に至る迄又は諸官廳や外國公館に於けるあらゆる辯護事務を引受けます。

相當聯絡がありますので聯邦首都や州内奥地も亦受けます。尙ほ投資、不動產賣買抵當、貸借、商社合併等の取引を常に取扱ふ係もあります。尙又通信はいづれの國語でもよく内外國法律上あらゆる點の照會回答に感じ當國發展上どんな質問にも詳細回答致します。

一度當事務所御訪問——それは六づかしい事はありません——は、あれやこれやの便宜有利な事を納得するに充分です。當事務所々在地はサンバウロ市で最も多くの人の出盛る場所で CASA FRETEIN の樓上にあります。

OSAKA SHOSEN KAISHA

恭賀

大阪商船會社汽船發着廣告

新禧

◆ 横濱、神戸行きリオ港發一月廿七日
日本ヨリ リオ港着一月十六日
(サントス着一月十八日)
便宜上大阪商船
取次を常盤ホタル石日本郵船日本行き切符
切符に關する詳細は同氏へ御間接致候
Antunes dos Santos & Co.
S. Paulo :-- Rua José Bonifácio, 17
Santos :-- Rua do Commercio 84
Wilson Sons & Co. Ltd.
Rio de Janeiro :-- Av. Rio Branco, 37

謹賀新年

ケズリ箋

三共商會

15

郵電
部

兩七

七

二 ラ

- 11 -

三

八〇

三
四

番 番

學法士 アツサデ・ベシヤラ